

(講座) 臨床薬学
(氏名) 稲嶺 達夫

(研究室) 薬物治療学
(職名) 助教

【研究テーマ】

1. 原発性胆汁性肝硬変の疾患感受性遺伝子の同定
2. 原発性胆汁性肝硬変の重症化感受性遺伝子の同定
3. 真菌 *Candida glabrata* の病原遺伝子の同定

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. Miyazaki T, Yamauchi S, Inamine T, Nagayoshi Y, Saijo T, Izumikawa K, Seki M, Kakeya H, Yamamoto Y, Yanagihara K, Miyazaki Y, Kohno S. Roles of calcineurin and Crz1 in antifungal susceptibility and virulence of *Candida glabrata*. *Antimicrob Agents Chemother* 54 (4):1639-1643, 2010. (IF: 4.802)
2. Miyazaki T, Inamine T, Yamauchi S, Nagayoshi Y, Saijo T, Izumikawa K, Seki M, Kakeya H, Yamamoto Y, Yanagihara K, Miyazaki Y, Kohno S. Role of the Slt2 mitogen-activated protein kinase pathway in cell wall integrity and virulence in *Candida glabrata*. *FEMS Yeast Res* 10 (3):343-352, 2010. (IF: 1.785)

【学会発表】

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 福田沙耶香, 佐藤加代子, 岩本英子, 安次嶺渚, 稲嶺達夫, 近藤新二, 峰沙織, 川村淳一, 本田徳光, 町田治久, 河野茂, 塚元和弘: *SMAD7* は潰瘍性大腸炎の疾患感受性遺伝子である. 第130回日本薬学会年会 2010年3月28~30日(岡山)
2. 河内歩美, 稲嶺達夫, 比嘉辰伍, 野口扶美枝, 白川弥生, 橋口寿恵, 近藤新二, 中村稔, 石橋大海, 大曲勝久, 塚元和弘: *ABCG5/ABCG8* 遺伝子は原発性胆汁性肝硬変の重症化感受性遺伝子である. 第130回日本薬学会年会 2010年3月28~30日(岡山)
3. 岩村直矢, 宿輪紀子, 峰沙織, 稲嶺達夫, 塚元和弘, 近藤新二: Van der Woude Syndrome, Popliteal Pterygium Syndrome 患者に由来する *IRF6* 遺伝子変異はその転写活性能を低下させる. 第130回日本薬学会年会 2010年3月28~30日(岡山)
4. 河内歩美, 稲嶺達夫, 白川弥生, 橋口寿恵, 宇田さやか, 岡部優里, 近藤新二, 中村稔, 石橋大海, 大曲勝久, 塚元和弘: *ASBT* 遺伝子は原発性胆汁性肝硬変の進行に関与する. 第27回日本薬学会九州支部大会 2010年12月11日~12日(長崎)
5. 岩村直也, 宿輪紀子, 加来菜津美, 稲嶺達夫, 塚元和弘, 近藤新二: VWS, PPS患者でみられる転写因子 *IRF6* 変異は転写活性化能を低下させる. 第27回日本薬学会九州支部大会 2010年12月11日~12日(長崎)
6. 福田沙耶香, 安次嶺渚, 山下亜理沙, 稲嶺達夫, 近藤新二, 町田治久, 河野茂, 塚元

和弘：IRF5 はクローン病の疾患感受性遺伝子である． 第 27 回日本薬学会九州支部大会 2010 年 12 月 11 日～12 日（長崎）

【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	3 編	（邦文）	1 編
総説（欧文）	0 編	（邦文）	0 編
著書（欧文）	0 編	（邦文）	0 編
紀要（欧文）	0 編	（邦文）	0 編
特許	0 件		